

阿久根市民交流センター（仮称）建設方針（案）及び阿久根市立図書館建設方針（案）に対する意見と阿久根市の考え方

6月26日から7月23日までの間に募集しました「阿久根市民交流センター（仮称）建設方針（案）及び阿久根市立図書館建設方針（案）」についての意見と阿久根市の考え方についてお知らせします。

- 提出人数 1名
- 提出のあった意見の数 1項目1件

意見	市の考え方
<p>1 一点だけ再考頂きたく、御意見を述べさせていただきます。</p> <p>文化会館（ホール）は、文化、芸能、音楽を通じて、特に、子供たち中心に、これからの未来をになう、幼児・小学生・中学生に夢と、希望と、感動を与える場。成人お年寄りには、楽しさと、癒しの場として、本物を観・聞き・感じ・体感できる場、ライフステージ空間であると思います。</p> <p>私の一点の疑問点は、客席数です。少なくとも、客席数800席～850席（理想1000席）</p> <p>H25年6月現在阿久根市在学児童 小学生、中学生：約1600人</p> <p>以上の人数から現企画段階の600席～650席では、1日2回公演としても消化できないと思われませんが、いかがでしょうか。疑問です。</p> <p>特に、子供達に、平等に観賞、観劇を体感してもらい、夢と希望を持って、感性豊かな人間に育てほしいものです。そのことが何より重要かと思えます。</p>	<p>客席は、「概ね650席とするが、より多くの方が入れるようなスペースの確保に努めます。」としておりますので、まず、概ね650席とした理由について述べます。</p> <p>①本施設は、興業目的の劇場施設としてではなく、集会施設として多くの市民が集まり交流する施設を目指しております。興業収入で採算ベースにのせるには、少なくとも1200席は必要だと言われています。</p> <p>②現市民会館の利用状況では、600人を超える利用は年に1～2回程度です。1000人規模のイベント等は、総合体育館を利用するなど、施設の有効活用を図る必要があります。</p> <p>③観る側だけでなく演じる側としても多くの市民の方に利用してもらうことが必要です。そのためには、あまり大きい施設だと使いづらい施設となりますので、200～300人程度の観客でも、お互いが満足できる広さとする必要があります。</p> <p>④財政状況を考慮したとき、建設費を抑える必要があるとともに、維</p>

	<p>持管理に係る経費など，後年度を見据えた施設づくりが必要です。</p> <p>⑥席数を抑える一方で，座席については，ゆったりと観賞できるような椅子とスペースを確保する予定です。</p> <p>以上のようなことから，席数を概ね650席としたところですが，それに加え，より多くの方が入れるようなスペースの確保に努めたいと考えております。</p> <p>子どもたちに，一流の音楽や演劇等を観賞する機会を創出することはとても大事なことでと理解いたします。</p> <p>その場合，小学生と中学生が一堂に同じ演目等を観賞するのではなく，小学生と中学生ごとの年齢による区分も必要かと考えます。</p> <p>小学生だけであれば，2回に分ければ計画の席数でも実施は可能と考えております。</p> <p>また，観る側だけでなく，演じ手として，ピアノやダンスなどの練習の成果や，郷土芸能などの発表の場として，多くの子ども達に利用してもらえればと考えておりますので，御理解ください。</p> <p>貴重な御意見ありがとうございました。施設の運営等にも参考にさせていただきます。</p>
--	--

※ 御意見は，要点を掲載してあります。

●上記意見に対して，「阿久根市民交流センター（仮称）建設方針（案）及び阿久根市立図書館建設方針（案）」の修正等を行いません。